

麻生2号線(新百合山手中央通り)の修景

麻生2号線は、総道路延長約300mで、地区の中央に位置し、地区の顔であることから、地区計画の導入により、沿道宅地の敷地内・道路沿いに幅10mのオープンスペースを確保し(10mセットバック空間)、公共道路を含め全幅36m(片側の歩行者空間だけで幅約13m)にする計画としました。また公共道路側の街路樹と合わせ片側2列植栽とし、修景緑化を図ることとしました。さらに、新百合ヶ丘駅へ向かう交差点(麻生2号線の始点)から約100mについては、事業地のイメージ向上とシンボルゾーンの形成を目指し、両側計25基のガス灯を設置しました。麻生2号線は現在、「新百合山手中央通り」と名付けられています。



イメージパース(事業地南側からの俯瞰)  
※パースはイメージであり、実際とは異なります。



麻生2号線(新百合山手中央通り)の修景方針

- 拠点の創出
  - ・3つの演出拠点を創りシンボル性を高めました。
  - ・2号線入口は西側2号緑地と東側2号公園や十二神社と一体となったグリーンゲートとして位置づけ修景。
- 歩きやすい快適な街路空間の形成
  - ・緑と馴染みが良く、年とともに「味」の出るような素材・色彩の舗装材を採用。
  - ・環境へ配慮された素材を採用し、またバリアフリーに配慮された空間を形成。
  - ・緑と馴染みが良く、質の高い素材・デザインのストリートファニチャー(車止め・ベンチなど)を設置。
- 片側2列の並木
  - ・麻生2号線の地形に適し、また整形的かつ列植することで方向性が強調される、都会的なイメージを持つ樹種「アメリカフウ」を片側2列、合計4列植栽。
- ガス灯による街路の夜間演出
  - ・麻生2号線の導入部分には、街路の両側にガス灯を計25基設置。やわらかなイメージを持つ夜間景観を創出。



拠点とゲート配置図



ガス灯

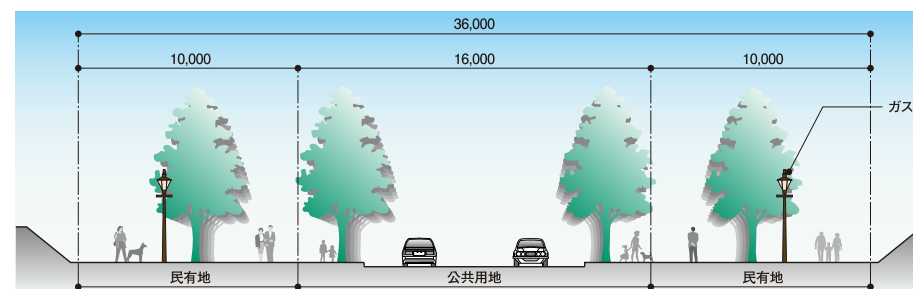


全体イメージ

※平成16年4月時点での計画に基づくもので、実際とは異なります。



平成19年4月25日に行われた「ガス灯点灯セレモニー」の様子



麻生2号線断面イメージ図  
※寸法の単位はmm ※イメージであり実際とは異なります。